

国産自然農法 交配種

きゅうり バテシラズ3号

蒔く時期 ▶ 3月～6月、6月～7月

収穫時期 ▶ 6月～10月、8月～11月

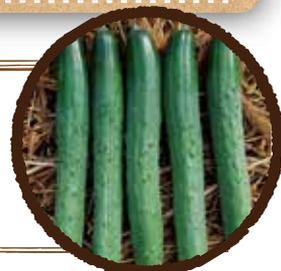
特徴

露地の早まきから普通まきに適します。着果が良く生育旺盛です。褐斑病、うどんこ病、べと病に強く、丈夫で育てやすいです。果実は鮮緑色、やや長めで尻太りが少なく果揃いも良い品種です。

育て方

【用土】

- 極端な酸性土壌や、アルカリ土壌ではなく弱酸性Ph6～6.5程度が適しています。



【植え付け】

発芽適温：25℃

栽培適期（温暖地）：普通栽培（春播き（育苗））～遅まき（盛夏の直播き）

- 露地普通栽培の場合、遅霜の心配が無くなる頃を目安に植え付け日を決めます。
- 遅まきで利用する場合は直播きもできます。



【間引き】

- 直播きの場合は一穴に3～4粒播き、発芽揃い直後（双葉展開時）に2本残し、本葉2～3枚期を過ぎてから1本立ちとします。

【水やり】

- 適宜行います。特に盛夏に日中萎れるような症状がある際はこまめに水やりを行います。

【追肥】

- 通常は必要ないですが、葉がたれ気味になる兆候があったり、葉色が薄くなり始めるような兆候があるなどした場合は、ボカシ肥を一株当たり手のひらで軽く一握り位株元などにばらまいても良いです。

【収穫】

- 果長16～20cm内外で、果重が100g前後くらいが果実収穫期です。

【管理・栽培のポイント】

- 誘引を適切に行い、ツルを痛めないようにしましょう。
- 脇芽の発生が多く脇芽に着果するタイプのため、株間を広めにすると良いです。

【病害虫】

× アブラムシ、 ×
べと病、
うどんこ病、
(アブラムシ媒介による)
モザイクウィルス

